

たあとるほいくえん

【令和7年度 自己評価への取り組みと状況報告】

今年度1年を振り返り、あなた自身の評価を行ってください。

1→5（悪い→良い）の5段階評価。また、あなた自身が下記項目以外で、「良いと思うところ」・「これから改善しようと思うところ」を記載してください。（期間）

保育の計画性

たあとるほいくえんの保育理念・方針を理解し、達成できるように計画を立てて	3
子ども一人ひとりの発達過程や興味を把握し、計画を立てている。（月案・個人案）	3
保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っている。	4
評価結果をもとに保育の改善に努めている。	3
楽しい雰囲気の中で、安定してあそべる環境構成を考えている。	4
配慮の必要な子どもには、その子に応じた計画を立てている。	4
良いところ	・子ども一人ひとりをよく観察し興味や発達に合った計画を立てる様つとめている。 ・子ども一人ひとりの発達や興味を大切にし、保育に取り組んだ。 ・昨年度、個人案を書かせて頂き、いろいろな面での気づきが多くあった。 ・計画を立てることはないが自分の行った保育が良かったかどうか振り返りはしている。 ・研修で受けたことをもとに計画を立てた。 ・園の方針に沿った保育ができるよう心がけている。 ・1日の予定や発達に応じた対応について担任よりその都度共有があり補助がとてもしやすかった。 ・1人ひとりに合った計画を考えている。 ・ペープサートや絵カードを通して生活の流れを伝えていくとスムーズに移行できることが多くあった。 ・様々なあそびを取り入れていきながら保育できるように心がけた。 ・楽しい雰囲気配慮の必要な子どもをその子に応じて接する努力をする。 ・子どもがみんな同じ発達具合ではないことを念頭におきかわるようにした。
改善点（策）	・発達に合った環境設定を考えてはいるが実施出来ていない所もある。実施出来る様工夫したい。 ・これからは状況に応じて、柔軟に対応できるようにしたい。 ・より一層ひとりひとりの子どもに応じた対応ができるようにしていきたい。 ・振り返りをする事で、次に個々に合った保育が実施できるようにする。 ・保育計画等、自分から先生方に尋ねていこうと思います。 ・保育理念、方針を常に意識できているようにする。 ・計画案に携わる事が少ないが可能な限り計画に沿った保育をできるようにする。 ・担任不在の日に主を行う際に具体的な保育計画が立てられていない時があるので普段の習慣や計画を把握し準備する。 ・全職員で共通理解できるように引き続きしていく。 ・レパートリーが少なかったので、様々な場面での物も用意していく。 ・さらに遊びを発展させられるようにしていく。 ・1人1人をしっかり把握できるようにする。 ・ノートをこまめに見る。 ・保育環境が子どもにとって準備されているかを大事に考えていきたい。

子どもとの触れ合い・対応

一人ひとりの人権を大切に関わっている。	4
一人ひとりの思いを受け止め、思いをできるだけ実現してあげようとしている。	4
一人ひとりの目標と課題を明確にし、見通しを持って関わっている。	3
一人ひとりの子どもの話を同じ目線で聞き、丁寧に関わっている。	4
子どもの手本となる言葉使いや挨拶が出来ている。	3
子どもの名前は呼びすてにしていない。	5
すべての子どもと公平に関わっている。	4
オムツ交換・お着替え時は、優しく声掛けし、スキンシップをとっている。	4
必要以上に「禁止・命令・行動を急かす・自信を失わせる言葉や態度をしていない。	3
子どもに対する適切な言葉遣いができている。	3

良いところ	・一人ひとりの思いをくみ取れる様日々つとめている。前向きな言葉を心掛けている。 ・子どもの気持ちに共感しながら関わる事を意識した。 ・ひとりひとりを大切に公平に関わろうと心がけている。 ・できる限り、ひとりひとりに挨拶するように心がけている。 ・一人ひとりの子どもとていねいに関わっていききたいと心がけています。 ・1人1人の話を丁寧に聞いた。 ・子どもと触れ合う時は1人1人の人権を大切に接する事ができた。 ・それぞれの子どものその時の興味・関心を知り、一緒に楽しめるよう努めている。 ・1人ひとりと丁寧に関わることを心掛けている。 ・けんかやおもちゃのとりあいなど双方の気持ちを代弁し伝えようとしている。 ・子どもの行動を受けとめ声かけや関わるように意識して努めた。 ・できる限り気持ちによりそいながら、関わる事ができるようにした。 ・一人ひとりの目線で優しく声掛けをする。 ・子どもの思いを言葉で代弁し、子ども同士でも気付けるよう配慮した。
改善点（策）	・いつでも丁寧に関わられるよう、時間に余裕を持った保育を心掛けたい。 ・さらに子どもの気持ちを丁寧に汲み取り関わっていく。 ・禁止事項など、必要以上に大きな声になることがないようにしていきたい。 ・「してはいけないこと」「危険なこと」など注意をするときにつき否定的な言葉を使ってしまう時があるので、肯定的な言葉づかいができるようにしていきたい。 ・声かけが、それで良かったのか他にももっとできたのではないかといろいろな方向から考えていきたいです。 ・親しみを持っていたとしても呼びすてにしない。 ・常に子どもとの触れ合いや対応に配慮して保育に臨みたい。 ・子どもの思いを受け止められていないと感じる際の対応について、他の保育士の対応を見て学んでいきたい。 ・子どもの気持ちを受け止めてその都度言葉掛けを意識する。 ・一人一人に適した言葉掛けが十分に出来なかったように思うので、特徴を捉え声かけをしていく。 ・言葉遣いをもっとていねいにできるよう心がけていきたい。 ・すべての言葉使いを気にして発言する。

保護者への対応

園の保育内容や子どもの姿がわかるような発信をしている。	3
子育てパートナーとして、保護者の子育ての大変さや悩みを理解している	3
送迎時に子どもの姿（ケガ含む）を必ず伝えている。	4
丁寧な言葉遣いと気持ちの良い対応を心がけている。	4
親しくなったからといって、ため口や友達同士のような話し方、上から目で会話をしていないか。	4
すべての保護者と公平に関わっている。	4
保護者の子育てを支え、子育ての喜びを共感している。	4
良いところ	・保護者の方には子どものよい所、成長をたくさん伝えるようにしている。 ・泣いて登園してくる子には、抱っこをしたり、たくさん声をかけたりして、保護者の方も安心できるよう心がけた。 ・受け入れ時、ていねいな対応ができるよう心がけている。 ・保護者の方とあまり関わることはないが、受け入れ時は少しでも安心していただけるよう笑顔を心がけている。 ・目を見て明るく対応する事を心がけています。 ・園での出来事、発言、できるようになったことなど普段から伝えていた。 ・常に保護者の方への言葉遣いには気をつけている。 ・子どもができたことや頑張っていること等、前向きな内容を中心にお伝えするよう心がけている。 ・連絡ノートで出来事をわかりやすく書くよう心掛けている。 ・余計なことはしゃべらないを意識している。 ・お迎え時には、その日にあったエピソードを一人一人伝えるようにした。

改善点（策）	・勤務的に、顔を合わせられない方もいて、日常の話し等、十分には出来ていない部分がある。 ・もう少し園でのエピソードを伝えたりして、コミュニケーションをとる。 ・保護者に安心して頂けるように対応していきたい。 ・子ども達の事ばかりではなく、保護者の方の様子も担任の先生から情報を得るようにしていきたい。 ・保護者の方々にもていねいに対応していきたいです。 ・引っ越しなど保護者の家庭での疲れにも気付き寄り添っていく。 ・更に保護者の立場に立って考えられるようにしていきたい。 ・送迎が重なってしまう際に対応に差が出てしまうことがあるので平等な対応に努める。 ・引き続き保護者の方と信頼関係をしっかりと築いていく。 ・もう少しフランクな対応も必要。 ・衣類や持ち物の入れ間違いが多く出てしまったので、毎度、確認をしながら行っていく。 ・小さなケガや伝達事項がTELになってしまうことがあったので、忘れず口頭で伝えられるよう心がけていく。 ・安心して預けられるような言葉使いと笑顔を作る。 ・保護者の思いに寄り添ったり見えない部分にも配慮できるように考えていきたい。
--------	---

自然や社会との関わり（散歩・戸外あそび）

適度に園庭やお散歩に出掛けている。	4
生き物や植物を大切にしている。	4
近隣地域の人、来園者に明るく挨拶ができています。	5

良いところ	・タイミングがあれば少しでも戸外に出すぞうした。 ・天候や植物の観察等、感じる事を言葉で伝えて、楽しんだり共感し合えた。 ・公園や散歩時、出退勤時にも、近所の方にあいさつを心がけている。 ・自分が感じたことは言葉にして伝えるようにして、子ども達に関心を持ってもらえたらと思っている。 ・地域の方々にも子ども達は見守っていただいているという気持ちで挨拶をしています。 ・保育者を通して子どもたちも元気に挨拶するようになった。 ・散歩では植物の話しをしたり近隣の方にあいさつをするよう心がけている。 ・植物や天候についての言葉掛けを心掛け、季節を感じられるようにしている。 ・公園で四季の変化を感じている。 ・戸外へ出る機会を多くとれた。 ・季節の変化に気付けるように関わることができた。 ・転落に気を付ける。 ・戸外に積極的に出掛けるようにした。
-------	--

改善点（策）	・苗植えや種植えの際、もう少し知識を持てのぞみたい。 ・花の名前について分からないことがあるので、子どもと一緒に調べたり、自分自身も知識を身に付けたい。 ・四季の自然の事象など子どもたちとともに楽しめるようにしていきたい。 ・お散歩の時など温かく見守ってくださる地域の方に、感謝の気持ちを伝えられたらと思う。 ・園で育てている作物の日々の生長に目を向け、子ども達と共有したいです。 ・遊具など、他の家庭の方も使えるよう使用時間に配慮する。 ・引き続き植物や生き物を大切に、あいさつも忘れないようにしていきたい。 ・戸外での活動場所に不衛生なものがないか等より詳しく確認する。 ・危険物はないかきちんと確認していく。 ・一つの遊びでも工夫をして個々に楽しめるように考えていく。 ・自然への興味をもっと深めていけるようにしていく。 ・子どもの歩調に合わせ、自然を感じられるようにする。
--------	---

保育士としての能力（良識・適正）及び態度（姿勢）

園内・園外研修に積極的に参加している。	2
自らの保育を振り返り、第三者の意見を聞きにしている。	3
自らの保育を振り返り、第三者の意見を取り入れている。	3
自身の保育を振り返り評価反省を行い、次の保育に生かしている。	3
まだ、自分にできることはないか、協力できることはないか自ら声をかけている。	3
自己の体調を管理し、他職員に迷惑をかけないよう努めた。	3
子どもの事、クラスの出来事、保護者からの苦情（相談）等、必要なことは施設長（管理者）や主任に「報告・連絡・相談」している。	4
園の消耗品や教材は節約して使っている。	4
職員や園の批判を軽はずみにしたり、プライバシーについて他へ漏らしていない。	4
他の保育士の意見を尊重できている。	4
提出物を期限内に提出できている。	3

良いところ	・日々、自身の保育を振り返ることを意識している。 ・自分にできる事を積極的に努めた。 ・園の備品や消耗品は、ていねいに使い節約を心がけている。 ・保育で悩んだり、うまく行えなかった時は担任の先生に相談するようにしている。 ・他の方に迷惑をかけないように少しでも役に立てるように動けるように考えています。 ・職員同士で1日の子どもの様子を振り返り、改善点などを共有していた。 ・手伝える事がなか声をかけできるだけ補助ができるよう努めた。 ・クラス担任の意向を確認し、保育に反映させるよう努めている。 ・活動の流れ等、他職員と共有するよう心掛けた。 ・子どもの感性、心を大切に保育に臨んでいる。 ・保育者それぞれのやり方を見ながら保育に活かした。 ・可能な限り、体調を崩すことなくすごすことができた。 ・園内だけでなく書物を借りて活用している。 ・困ったときは相談するようにした。
改善点（策）	・自分のクラスの事に集中してしまい、協力を提案することをおこたる時があったので意識したい。 ・わからない事や困った事がある場合は担任の先生に相談・確認することを大切にし、情報共有をしていく。 ・研修に行ったり、第三者の意見を聞く機会などもてるようにしていきたい。 ・研修などはなかなか参加することが出来ないの、自己で保育に関する教養を深める努力をする。 ・自分からできる事、協力できる事を見つけられるようにしたいです。 ・計画を立て、早めに提出物に取りかかる。 ・研修には参加できていないので機会をみつけて参加できればと思う。 ・新しい活動を取り入れたり、現状のアップデートができるよう積極的に考え取り組みたい。 ・引き続きスムーズに活動できるよう話し合っていく。 ・子どもの表情や行動をよく見てどうしたかったのかをくみ取れるよう努める。 ・ひとりひとりの観察をもう少し深める。自己管理しっかり。 ・統一したい部分を明確にして、同じ声かけや対応をしていくことが必要と感じた。 ・期限を守れるよう心がけていく。 ・常にアンテナを張って周りを見るように務める。

安全面及び衛生面

給食及び間食を提供の際は、アレルギー食の配慮や工夫がされている。	4
施設設備や園庭、お散歩道中の危険箇所を把握し、安全点検を行っている。	4
常に危険を予知して保育に取り組んでいる。	4
危機管理意識を持ち、緊急時に対応できる体制ができている。	3
保育室の換気、温度・湿度に配慮して保育している。	3
子どもの健康状態やケガを記録し、職員間で把握できている。	4
良いところ	・快適に過ごせるよう、気温、室温に留意し、服装にも気を付けてすごせた。 ・子どものケガは前からあるものなのか、今できたものなのか担任の先生に確認した。 ・連絡をきちんとし、疑問点があれば確認をしている。 ・配膳時は必ず調理の方にアレルギー食の内容を確認している。 ・アレルギー食の確認の際は声かけ気をつけています。 ・ペーパー下の床など、滑りやすい所はこまめに拭き、注意を払った。 ・アレルギーには十分配慮し声をかけ合う事ができたと思う。 ・体調や精神的な変化について職員間で自然と共有できるようになっている。 ・子どもの健康状態を伝え合うように心掛けた。 ・子どもの安全を第一に保育に臨んでいる。 ・毎食後、ガーゼやウェットティッシュ等で手や口周りを丁寧にすることで子ども自身も自分でやってみよう意識が出てきた。 ・大きなケガなく保育ができた。 ・手が空くと消毒・掃除に心掛けています。 ・自然災害など、様々な場面で起こった場合の対応方法を考えた。
改善点（策）	・アレルギー食や、危機管理等、もう少し自分から情報や知識をかくとくしたい。 ・嘔吐時の子どもへの対応や後処理に不安があるので、明確にしていく。 ・一層、安全面の確認をしていきたい。 ・戸外遊び中は子どもの方ばかりに目が向いてしまう事が多いので、周りの環境の変化などにも注意していきたい。 ・改めて危機管理意識を持って保育に取り組まなければならないと思います。日々気をつけます。 ・小さなキズも職員間で共有する。 ・常に確認を忘れずにアレルギーやケガ等に配慮して保育に臨みたい。 ・アレルギー児への対応が充分でない事があるので食器の置き場所等改めて注意する。 ・全職員がアレルギーに対し恐怖心もち、細心の注意を払えるようにしていく。 ・四角く物事を見ないで！注視は心がけるようにする。 ・食べこぼしや身の回り等、清潔に保つことを意識していく。 ・ささいな出来事でも報告をしていくよう心がけていく。 ・1つずつ確認しながら行動する。